

今日のことで

今村 甲

廣田先生、お元気そうで何よりです。

私の老人性ウツ病は進行します？ 杖をついて 200 メートル位ウォーキングできます。調子の良い時です。コロナ禍も困りますがテレビで大リーグ野球エンジェルス・大谷選手の活躍がテレビでほぼ毎日あるので家こもりです。楽しみです。体調の良い時、悪い時があり、死んだが楽だと思えることがありましたが、いざとなるとできず、猫と家内とで、1日1日をなるべく楽しんでいきます。

今日、久原会会員の「会員の声」の執筆依頼が来ました。運良く、大リーグ大谷選手の野球も今日までとなり、がっかり、いや、しっかりしなければと、急に心が強くなり、ずっと休んでいた近所の老人ホームへ行く気になりました。

老人ホームは私がそこに行き、入所者と従業員の顔を見て回れば良いわけです。喜ばしいことに、私は杖をつき1人のナースがついてくれることです。いつも家にいるだけでの私には普通の人と顔を合わせるだけで嬉しくなります。相手方も私と顔合わせるのが楽しみと言ってくれます。

前置きが長くなりましたが、92歳の入所の男性が近づいてきて次のような会話になりました。

戦時中、鎮西学院は長崎にありました(西高あたりと思います)。学徒動員の生徒らは重労働に明け暮れていました。私の父はその頃小児科医ですが鎮西学院の校医をしていたそうです。そこで軍と話し合っって軽い労働にしてくれと頼んだそうです。するとトンネル内の機械工場の仕事に変わったそうです。同窓生、皆喜び、原爆の被害も少なかったそうです。92歳の老人は、私の父、興善の息子と知り、興奮して語りました。私のウツも軽くなったようです。私も感激しました。今日のことで。これでは会員の声にはなりませんね。でも書かせてください。

令和3年10月4日